

家の光ご担当者様、営農・農政ご担当者様

日ごろより、本会事業にお取り組みいただき、まことにありがとうございます。
『地上』2022年1月号企画のご案内を送付させていただきます。ぜひとも普及活用いただきますようお願い申し上げます。



1月号の ご案内

J A 青年組織、
J A 役職員の学習研修会に
『地上』の活用を！

| | | |
|--------|----------|------|
| 定価（税込） | 普通月号 | 618円 |
| | 付録月号 | 680円 |
| | （4・11月号） | |



特集

食農教育アップデート これからも農と食を伝え続ける5つの方策

2021年度から始まった第4次食育推進基本計画では、地産地消や生産者・環境などを意識した目標設定が強化され、より食農教育に力を入れていくことが求められています。そこで、第3次食育推進基本計画（2016～2020年）の振り返りと第4次計画の内容を踏まえた今後の継続的な食育・食農教育について整理し、コロナ禍の中でも、あるいはコロナ収束後も取り組める今後の食育・食農教育の具体的実践方法を考えます。



特別企画

リーダーたちの経験からひもとく 盟友拡大7つの鉄則

農業者人口の減少に伴い、J A 青年組織の盟友の数も減少の一途をたどって、青年組織の大きな課題となっています。

現在青年組織で活躍するリーダーたちは、どんなきっかけで青年組織に加入し、どんなことを学び、その後どんな心の移り変わりがあったのでしょうか。

今、青年組織で活躍する人たちのほとんどが、最初から魅力を感じて青年組織の門をたたいたわけではありません。加入したのちにさまざまなメリットを感じたからこそ、「青年部に入ってよかった」と感じ、その後も組織の一員として、仲間とともに活動をしてきたのだと思います。

そこで、現在活躍するリーダーたちの話を基に、盟友拡大方策を整理し、そのアイデアを伝えます。

○編集内容に関するお問い合わせは地上編集部へ

Tel 03-3266-9002 Fax 03-3266-9047

E-mail chi.jo.goodearth@mx1.alpha-web.ne.jp

○普及に関するお問い合わせは普及企画部へ

Tel 03-3266-9035 Fax 03-3266-9049

E-mail fukyu02@ienohikari.or.jp

※タイトルや内容は変わることがあります。

11月19日(金)までに
JAの「家の光」担当部署に
お申込みください



新春対決

YAMATO vs 柿蔦洋一

本誌「ビーフの魂」を連載中のYAMATOさんが、JA全青協会長・柿蔦洋一さんの地元・長野県上田市の圃場を訪ね、農業のこと、地域のこと、仲間のことを語り合います。また、連載中の「ビーフの魂」を、「ポークの魂<新春特別編>」に切り替え、長野県上田市の食材でYAMATOさんが料理を振る舞います。



現場発！ 盟You伝

愛知県JAあいち中央青年部



20年以上続く農作業体験を軸にした青年部と地元の障害者支援施設利用者との交流会。楽しんでもらいたいという気持ちとともに、安全面、作業のしやすさも考慮するなど、相手の立場を思う優しさが垣間見えました。

月イチ！ 『地上』ウェビナーも開催中！！

参加費無料

連載企画の筆者を招き、誌面をテキストにウェブ会議サービス「Zoom」を利用して、講義や意見交換を行います。テキストとなる企画は、「佐川友彦の農業経営プチ改善」と「小林国一の協同組合LABO」です。

農業経営やJA青年組織活動などに役立てませんか？
開催日時は『地上』とフェイスブックでご案内します。

定員50人
(キーワード
入力者優先)

「GOOD EARTH COLLEGE」と題したオンラインの
公開講座も月に一度開催中！ ぜひご参加ください！

農業・地域・JAを担うリーダーの雑誌

地上 facebook



詳しくはコチラ

学びが人・組織を強くする

「地上」がその一翼を担います!

- パターンA** 個人学習に加え、アーリーワークという機会を活用し、仲間の考えも共有しているため、一人で学習するよりも、高い学習効果があるでしょう。
- パターンB** 別の価値観を持つ人とふれあう機会までは作れていませんが、地域のみなさんと課題を共有して、未来に向かうための学習方法になっています。
- パターンC** さらに「地上」が提供する学習の場のフル活用です。個人での学習と集団での学習、さらには別の価値観を持つ人との学習ができるため、一人の農業者として最強の学習方法です。
- パターンD** 青年組織に属していない人や、青年組織で学習の機会がない人には最適な学習方法です。もし、青年組織に所属していて、このパターンになる人は、学習の機会創出のために、青年組織に働きかけましょう。地域の仲間との学習は、とても大切です。



GOOD EARTH

学習活動の勧め

「地上」を活用した継続的な学習のイメージ

「地上」が書く
スタート

1 個人で

インプットする

届いた「地上」を手に、時々々の農業・農政、地域、JAを取り巻く課題やJA青年組織の優良事例を「読んで学ぶ」。さらに「さくっと話し合おう」の問いを自分自身で考えてみましょう

「さくっと・じっくり話し合おう」は、毎号96ページの目次の下欄に一覧があります



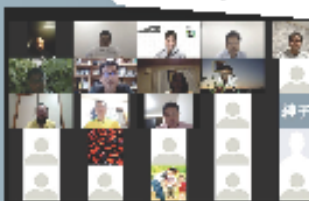
パターンC,D

4 個人で仲間と共に

ウェビナーに参加する

仲間同士の話し合いもたいせつですが、違う地域・違う作目の農家や別の職業、幅広い世代が集まる「月イチ」「地上」ウェビナーなどのオンライン学習会に参加すると、「地上」に書かれていることを超えた、新たな気づきやさまざまな情報を得られます

パターンD



記事に登場した青年組織をリストに、青年組織同士の意見交換の場も検討中!

筆者が「地上」をテキストに記事の10の情報を整理し、その後、質疑応答や意見を交換する。単体組織、支部組織での参加も大歓迎

●事業継続24時
みなで世代交代の働きしょうも不定期で開催します!

●小林園之の協同組合LABO



●佐川友彦の農業経営プチ改善



●GOOD EARTH COLLEGE (テーマ、講師は毎月変わります)



【さくっとあそび】 今月号は17, 25, 29, 37, 45, 53ページに記事があります



POINT

「さくっと話し合おう」のテーマや講師は毎月変わります。毎月10のキーワードから課題と解決策を考えることができるシート付き

「じっくり話し合おう」のテーマや講師は毎月変わります。毎月10のキーワードから課題と解決策を考えることができるシート付き

パターンA, B, C

会場の雰囲気

2 仲間と共に

アーリーワークする

JA青年組織の単位組織や支部の単位、近くの仲間などと共に、1で興味を持ったテーマや課題について自分が思っていることを発言し、みんなの考えを聞き、共有しましょう。「取扱説明書」(96ページ)の準備編・初級編が参考になります。自分の思いを言葉に置き換えることができます



学習会・研修会で「さくっと話し合おう」

パターンB

3 仲間と共に

グループワークをする

2で出てきた課題や疑問を解決させるため、議論を深める場がグループワークです。「取扱説明書」の中級編や「別冊付録」のワークシートを活用して、手順に沿って話し合ってみましょう。話し合いのタネは、「じっくり話し合おう」から選びましょう!



「地上」11月号別冊付録は、農業・農政に関わる10のキーワードから課題と解決策を考えることができるシート付き



「地上」は2022年5月号で創刊75周年を迎えます。よりニーズを捉えた雑誌作り、企画作りのため、読者アンケートを募集しています。ご協力いただいた方の中から抽選で50人に1000円分の図書カードを差しあげます。10月1日から2022年3月31日まで受け付けます。詳細は、11~4月号の35ページをご覧ください。

